

# 議会改革特別委員会における協議事項一覧

項 目		内容、意見等	
1 全般	(1)議会報告会の実施	議会が市民に対し定例的に報告会を開催する全国的な動向あり	
	(2)議会申合せの見直し	内容を精査すべき	
	(3)議会基本条例	議会基本条例を制定すべき	
2 請願陳情	(1)審査方法	意見書付きの請願・陳情は、各派代表者会議ではなく、常任委員会で審査すべき	
	(2)審査期間	2定例会程度で議了すべき	
	(3)参考人制度の活用	参考人制度を活用し、請願者、関係団体等から直接意見を聞くべき	
3 議員定数		(1) 既に削減を進めてきた経緯もあり、佐渡市の面積を考慮すると、現状維持又は2人減の22人が適当である。 (2) 各種数値等を考慮すると、2人減の22人が適当である。 (3) 定数減に比例して議員の質が向上するとは思えない。 (4) 議会活動の質が現在より向上しない限り、現行定数のままでは、市民の理解が得られない。4人減の20人が適当であり、将来的には18人を目指すべき。 (5) 議会の質を向上する努力を先行すべき。	
	4 本会議運営	広報・公聴	(1)議案に対する賛否の公表 議員又は会派ごとに賛否の状況を公開する全国的な動向あり (2)本会議のネット公開 ネット上で生中継又は録画中継する全国的な動向あり (3)議案の公開 提出された議案等は全てHP上に公開すべき
		一般・代表質問	(4)反問権 議員の質問に対する執行部の反問を認める全国的な動向あり (5)一般質問の時間 「答弁を含めて1時間」「現状どおり」「現行でも短い」等の意見あり (6)一般質問の重複項目の整理 「重複した質問項目を質問者間で調整すべき」等の意見あり (7)代表質問のあり方 質問・答弁1回の現在のスタイルでは、議論が深められない。また、一般質問と両方行えるようにすべき
		その他	(8)パソコンの議場持ち込み 「民間の会議では常識化している。」「議場で参考書を読むことと差異がない。」「中継を視聴する市民から疑われる」等の意見あり (9)議決事件の追加 議員発議の条例により議会の議決事件を積極的に追加すべき (10)討論制限の撤廃 現在、討論は申合せにより最大賛成・反対各2人とされているが、この申合せは撤廃すべき
	5 委員会運営	(1)予算審査の方法 全議員で構成する予算特別委員会を設置するなどして、予算に対する理解を深めるべき (2)常任委員会の所管事務機能の充実 常任委員会は、積極的に所管事務調査を実施し、その結果を本会議、市民に対して公表すべき (3)委員会の中継 委員会の模様をテレビ中継すべき	
6 政務活動費	公表内容の検討 より詳細な内容を市民に公表すべき		
7 その他	(1)議会報	発言者を特定しないスタイルに変更すべき	
	(2)議員のモラル	議員は品位ある発言を心がけるべき	
	(3)会派控室の確保	各会派に控室を確保すべき	
	(4)議員図書室等のプリンター設置	印刷ができるようにプリンターを設置すべき	
	(5)市民議会の開催	市民に議会への理解を深める	

## 佐渡空港・小木航路特別委員会が発足しました

6月定例会最終日に、佐渡空港及び小木直江津航路に関する問題を検討するための特別委員会を議員発議により設置しました。

### 1 特別委員会の名称

佐渡空港・小木航路特別委員会

### 2 付託事件

- (1) 佐渡空港の拡張整備及び利活用に関する事
- (2) 小木・直江津航路の運航体制に関する事

### 3 委員等

氏 名	職 名
佐藤 孝	委員長
渡辺 慎一	副委員長
加賀 博昭	委員
猪股 文彦	委員
村川 四郎	委員
中村 良夫	委員
中川 隆一	委員
大森 幸平	委員

# 平成24年度政務調査費の実績をお知らせします

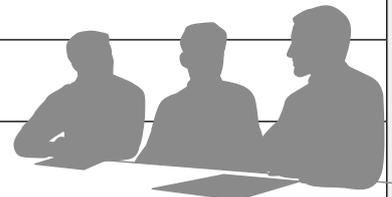
佐渡市では、議会の会派や議員に対し、調査研究等に必要な経費に充当するよう、1人あたり年額12万円の政務調査費を交付しています。なお、その精算の際には、全ての領収書の添付と残余金の返還を義務づけています。  
※25年度からは、名称が政務活動費と変わります。

## 平成24年度 政務調査費の実績

会派等 項目	新生 クラブ	市政会	地域政策 研究会	新和会	自由・三 クラブ	民主党	日本 共産党	無会派 (4人)	合計	比率 (%)
研究 研修費	0	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000	0.3
調査旅費	429,875	0	45,836	255,776	17,340	0	0	83,759	832,586	25.4
資料作成費	12,060	0	0	0	10,090	270,272	1,000	0	293,422	9.0
資料購入費	28,730	0	98,100	53,900	54,684	33,150	159,492	235,627	663,683	20.3
広報費	185,673	611,443	0	97,624	113,400	0	272,538	184,400	1,465,078	44.8
広聴費	0	0	0	0	8,252	0	0	0	8,252	0.3
事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
その他の 経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	656,338	611,443	143,936	407,300	203,766	303,422	433,030	513,786	3,273,021	100.0
当初交付 した額 (A)	600,000	360,000	240,000	360,000	360,000	240,000	240,000	480,000	2,880,000	
返還金 (B)	0	0	96,064	0	156,234	0	0	0	252,298	
最終的な政務 調査費の額 (A) - (B)	600,000	360,000	143,936	360,000	203,766	240,000	240,000	480,000	2,627,702	

## 政務調査費の用途基準

項目	内 容
研究研修費	研究会、研修会等を開催するために必要な経費又は他の団体の開催する研究会、研修会等に参加するために要する経費 (例) 会派勉強会、シンポジウム参加
調査旅費	調査研究活動のために必要な先進地調査又は現地調査に要する経費 (例) 行政視察
資料作成費	調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費 (例) 事務機器等のリース料
資料購入費	調査研究活動のために必要な図書や資料等の購入に要する経費 (例) 参考図書購入
広報費	調査研究活動、議会活動及び市の政策について住民に報告し、広報するために要する経費 (例) 議会報告作成経費、郵送料
広聴費	住民からの市政及び会派の政策等に対する要望、意見を収集するための会議等に要する経費 (例) 意見交換会会場費
事務所費	調査研究のために必要な事務所の設置及び管理に要する経費 (例) 事務所賃借料
その他の経費	上記以外の経費で調査研究活動に必要な経費 (例) 調査事務に係る人件費





## 平成25年 全国市議会議長会及び北信越市議会議長会表彰

- 在職40年以上(特別表彰)…………… 加賀博昭  
 在職15年以上…………… 近藤和義 金子克己  
 在職10年以上…………… 村川四郎 浜田正敏 中川直美

### ◆議会のうごき

月	日	内 容
4月	10日	市民厚生常任委員協議会
	12日	各派代表者会議
	17日	議会報編集特別委員会 産業建設常任委員協議会
	18日	総務文教常任委員会
	22日	議会報編集特別委員会
	25日	観光対策等特別委員会
	30日	総務文教常任委員会
	5月	7日
17日		観光対策等特別委員会
28日		総務文教常任委員会行政視察 (～30日 群馬県桐生市、 福島県南相馬市、 秋田県仙北市)
29日		市民厚生常任委員会行政視察 (～31日 北海道日高郡新ひだか町、 浦河郡浦河町、千歳市) 産業建設常任委員会行政視察 (～31日 北海道苫小牧市、 中川郡池田町)

### ◆行政視察来市状況

月	日	内 容
4月	11日	神奈川県大磯町、二宮町、箱根町、 南足柄市議会(～12日) (地産地消条例、観光誘客)
5月	8日	山口県周南市議会(トキ保護について)
	14日	福岡県八女郡広川町議会 (レジ袋ゼロ運動・バイオディーゼル)
	27日	静岡県富士市議会(地産地消条例)



### 編集後記

編集会議が本格的に始まると、表紙を飾る写真「市の旬」の選考が、いつも委員の議論の的になります。昨年11月発行の第34号は、「真野新町まつり・『復活!!』子どもすもう大会」でした。子どもたちの躍動感、目の輝き、父兄の声援を、少しでも伝えることができましたかと自己評価しています。

この復活大会の実行委員長の女性は、「30数年前に自身が参加した光景は、今でもまぶたに焼き付いている。その感動を子ども達にも与えたい」との思いから汗をかき、90人余の参加を得て成功しました。今年も、すでに新たな感動にむけて動きだしています。今号の「市の旬」には、何を感じていただけますか。

金子克己 記